

『田布施町少年少女発明クラブ』活動紹介

田布施町少年少女発明クラブは、町内小学3～6年生の児童を対象に、ものづくりをとおして創造性豊かな人間形成を図ることを目的として活動しています。

一般の指導員さんをはじめ、町内の小中学校の先生そして山口県立田布施農工高等学校の先生や生徒さんにも指導に加わっていただき、クラブ員はものづくりに意欲的に取り組んでいます。



町発明クラブ事務局（社会教育課内） ☎52・5813

◆クラブ員より感想です

このクラブで3年間意欲的に活動した6人の感想を紹介します。

①麻郷小学校 6年 野坂 美月さん



私が発明クラブに入ったのは、兄が昔入っていて楽しそうだなと思ったからです。電子工作やプログラミングなど、家ではなかなかできないことをさせてもらい、とてもよい体験になりました。ありがとうございます。

②田布施西小学校 6年 小川 雄暉さん



僕は、発明クラブで3年間活動し、さまざまなものづくりに取り組みました。特に興味深く印象に残っているのは、4年生の時のプログラミングです。少し難しかったけれど、指導員の方に丁寧に教えていただき楽しく学ぶことができました。

③田布施西小学校 6年 富永 柚希さん



私は4年生の時に、『チャレンジ創造コンテスト』に挑戦しました。苦労して作ったロボットが、リモコン操作で動いた時の感動を今でも覚えています。ものづくりの楽しさをたくさん発明クラブで学びました。先生方、ありがとうございました。

④田布施西小学校 6年 彌富 若奈さん

私は4年生から発明クラブに入りました。思い出は4年生のときに『なっとくかきまぜ機』でアイデア賞を取ったことです。いろんな試行錯誤をして作った作品で、あきらめずに作って良かったなと思いました。



⑤田布施西小学校 6年 山根 小春さん



私が発明クラブで心に残ったことは、4年生の時に友達と『チャレンジ創造コンテスト』に挑戦したこと。初めてのことで、苦労しましたが、2人でやりとげたときは、とてもうれしかったです。

⑥城南小学校 6年 永田 有彩さん

3年間の一番の思い出は、鳥の巣箱を作ったことです。1メートルの板から巣箱が作れるように設計図を何度も書き直しました。実際、巣箱に鳥が卵を産んでいるのを見た時は、一生きん命作って良かったと思いました。



◆入賞おめでとうございます

『やまぐち未来の科学の夢絵画展』（山口県発明協会主催）で、東田布施小学校5年の波山大輝さんの作品『無人マリンクリーナーマシン』が奨励賞を受賞しました。



※新型コロナウイルス感染予防対策で十分な活動ができなかったため、令和元～3年度の写真を掲載しています。本クラブの指導員として活動してみたい人は、田布施町教育委員会社会教育課へお問い合わせください。